

# 花びと通信

花と緑のあふれるまちづくり

No.25 2016年3月15日

花びと会ちば

バス研修「房総花めぐり」

日時：平成28年2月3日（水） 8:30~17:30

行き先：南房総（富浦・富山・千倉）

時間の許すかぎり、花びと会のバス研修や講習会、市民会館の花壇の手入れには必ず参加するようにしています。82歳、好奇心旺盛も元気の素だと思っている。以前に老人会で白浜灯台に行ったことがあるが、花より団子で白間津の花畑は素通りしてしまい残念に思っていたので、今回はすぐに申し込みました。

車中では、世代を越えたお嬢さん方の仲間入りをさせてもらい、笑いの絶えない時間を過ごしました。又、緑政課の高瀬主査の興味深い史実を交えた名ガイドに充実した一日を過ごす事ができました。昼食は、新鮮な海の幸とキンセンカのてんぷらを頂き大変満足しました。

次回も楽しい企画を期待しています。



【白間津の花畑】

山本敏雄



房総の春は早い。2月には色とりどりの花が、あたり一面を明るく、やさしい雰囲気包んでいく。そんな中、念願の「花」を食べるツアーを「花びと会ちば」さんが企画された。二つ返事で参加させていただいた。

マイクロバスの中は、館山市出身といわれる職員のガイドと進行係の会員の方のユーモアあふれる仕切りで笑いの絶えない楽しいひと時は、「花」を食べるといふ楽しみを倍加させてくれた。「魚拓荘鈴木屋」…「花を食べる」に相応しくないような店名、と思いきや、お魚料理の宿としてNHKでも放映された評判の宿とかで納得。

2階に準備された「花御膳」を囲み美味しくいただいた。ボリュームあるキンセンカの天ぷら、ストック、キンギョソウ、菜の花等々、海の幸もあって至福の時だった。

花の栄養価は高いといわれていますが、買ってきた花は食べられないことは肝に銘じておきましょう。種から育てたエディブル（食べられる）フラワー（花）、野草のタンポポ（根を付けたまま天ぷら）に挑戦してみましよう。

杉本明行

## 市民公開講座 園芸療法

～心とコミュニティを豊かにする花と緑の力～

日時：10月3日（土） 14：00～15：30

講師：澤田みどり（恵泉女学園大学 特任准教授）

花とみどりで人を癒す園芸療法について海外で学んでこられた澤田講師から日々の活動を通してお話をして頂きました。

老人ホームや障害者施設では、植物や園芸作業を取り入れリハビリや治療で成果を上げているそうです。植物を通じた会話は、共感する場面が増えた。植物や園芸作業から生ずるデメリットやリスクをシュミレーションをして回避する方法を検討する。参加される人の安全が保障出来ると判断したうえで初めて活動が出来る。

1. アセスメント・・・当事者の理解
2. リスクマネジメント
3. 目的（短期・中期・長期）
4. プログラムの立案（植物の選択、道具の工夫、環境の整理、説明）
5. 共通理解と協力者（記録をとっておく。共感できる人が多い）
6. 記録と評価
7. 年間プログラム

園芸は植物が主役、園芸療法は人が主役です。援助の技術として、園芸作業をプログラミングするのが園芸療法です。主役である当事者を理解する知識と技術が必要です。

今後は、園芸は生活に密着し、地域の文化や風土と関わりの深い活動で、認知症予防、介護予防、地域のまちづくりの中で大きな役割を担う分野ですと締めくくられた。

### 千草台公民館でのハンギングバスケットづくり



平成27年11月29日と12月13日の日曜日に千草台公民館の主催事業として「ハンギングバスケットづくり教室」を開催しました。

当日の参加者は各回とも15人と定員の参加をいただきました。初心者の方々を対象にした講座で、講師の先生から丁寧な指導をいただき、皆楽しく有意義な時間を過ごしました。

こんな小さなバスケットに15個ものビオラが入ると最初はびくびくしていた参加者も大胆に鉢土を取り除き収めていきました。出来上がりを見てみんな自分のが一番とおもっていたようです。二回目は鉢植えを作りました。一回目に作ったハンギングの成長ぶりを話したり打ち解けた雰囲気楽しく講座を終えることが出来ました。参加者からは、楽しかった。来年も開催して欲しいとか、団地をこんな花で飾りたいなどと言った感想が聞かれました。植物とのかかわりがみんなの心を豊かにすると感じた講習でした。講師の先生ありがとうございました。

千草台公民館館長 鈴木康博



## 泉自然公園散策会

開催日：11月22日（日）

泉自然公園は、市内屈指の風致公園で、園内には水生植物園や蓮池など5つの池が配置され、水鳥をはじめ多くの野鳥が飛来している。42%を山林が占め、園地の大半が緑地保全地区になっているほか、日本さくら名所100選にも選ばれていて、自然公園という名に相応しい素晴らしい公園だと思っています。森林インストラクターの稲岡一義先生にご案内とご説明を頂きながら、2時間の散策をしました。



いすみ橋から上池と中池の眺望は、池の谷間を埋め尽くす真紅、薄赤、黄色が織りなす「グラデーション」の世界が視界一面に広がり、その紅葉が水面をも染めて「ウワー綺麗」「素晴らしい」「感激！」など感嘆の言葉が飛び交い、暫しの間見事な紅葉に魅せられその場から離れる事をすっかり忘れてしまったほどでした。



下池では、数種の鴨が群れがゆっくりと泳ぎ、枯れ枝には、青鷺がじっと止まっていました。オシドリが仲良く並んで泳いでいたり、自然の営みや生き様を観察する事が出来ました。もみじ谷では、暖冬の影響ですでに紅葉の盛りを過ぎた木々も見られましたが、イロハカエデが真紅の葉をもえ輝かせ、濃淡色とりどりの世界が見られました。

稲岡先生から葉の形状から「もみじ」の種類を見分ける方法や木々や野草の種類とその特性、落葉樹が紅葉する過程や役割などを学び得る事が多い自然観察会でした。

伊藤 友一

## 木の実を使ったリース作り

開催日：11月26日

子どもの頃、公園で必死になってバケツ一杯どんぐりの実を集めた事や稲毛海岸で子どもたちと松かさを持った事を思い出しながらリース作りをしました。木の実の配置をあれやこれやと考えながら二時間かかりオンリーワンが出来ました。 H・S



青葉の森で見つけたかわいいモミジバフウや泉自然公園で拾った橡の実、松かさ、杉の葉などが見事に変身！とても素敵なナチュラルリースが完成。早速、我が家のリビングの特等席に飾りました。

相田 千恵子

## 「千葉市議会花のあふれるまちづくり推進議員連盟」との意見交換会&議会傍聴

11月5日に、恒例となりました花議連の方々と交流会を行いました。千葉市の花や緑の推進について参加者から日頃思っている事を出し合いました。続いて大賀ハスを観る会を主催している当会として、大賀ハスのPRやちはなちゃんの活用を手厚く推進して欲しいとお願いしました。



9月30日、12月9日に、市議会の傍聴に行きました。・・・花びと会ちばの支援や東京オリンピック・パラリンピックの会場となる幕張新都心においてオオガハスの名所づくりなど取り組むとの答弁が有りました。

## 美浜区民フェスティバル



10月4日、三陽メディアフラワーミュージアムにおいて当会は、フラワーアレンジメント講習、ナチュラルリース作り、花苗販売、花カフェを行いました。当日は、快晴で日差しが眩しかった。紅茶にビスコッティ（焼き菓子）をつけて販売。前日に、会員で焼き上げたビスコッティは、大変評判が良くお土産にと2袋、3袋と購入して頂き完売いたしました。

## 市民会館の花植え 冬の陣

作業日：12月21日（月） 快晴

市民会館改修工事の為 利用者の姿はありませんでしたが、今年度3回目の植替え作業をしました。各区から会員さんがJRやバス等でリックを背負って作業にやってきました。東南向きのこの施設は、植物の生育環境が良好で花の発色も素晴らしいです。冬に向けて長花壇には、色とりどりのパンジーを250株植え付けました。

花苗は、会員の生産者をお願いし出番を待っておりました。『よく咲くパンジー』と言う商品名の元気な苗です。8基のプランタは、「白い冬」をイメージし、葉牡丹と白たえ菊でアレンジしました。葉牡丹は、キャベツの仲間のケールを観賞用に改良したもので江戸中期に渡来しました。最近、ミニ葉牡丹の人気が高まって丸葉系・縮緬系・さんご系・高性系とバラエティーに富んでいて葉牡丹のイメージも劇変しています。

是非 みなさんも挑戦してみてください！

（斉藤 美智子）

今年度、市民会館の作業をお手伝いくださった方は80名でした。ご協力ありがとうございました。

## 28年度総会&研修会

日時：4月13日（水）14：00～14：50 講談（大賀ハス発見の由来）

15：00～16：00 総会

会場：千葉中央ツインビル 2号館 8階 千葉市国際交流協会 会議室